令和８年９月第３回定例会

令和７年度決算などを審議



議案は全て可決・認定・同意

９月議会に村から提案された議案（承認１件、予算案10件、認定案10件、条例案３件、事件案５件）は、いずれも可決・認定・同意しました。

決算審査について

決算審査は、村の財政状況をはじめ、各事業で予算がどのように使われたのか、その成果や課題などを確認・検証し、次年度以降の事業につなげていく大切なプロセスです。

議会初日（８月27日）、議会での決算審査に先立ち、勝山卓（たかし）代表監査委員から「決算に対する監査意見」の報告がありました。以下、監査の指摘事項の要旨です。

監査委員からの指摘



勝山卓　代表監査委員

①村税の「不納欠損」は要因を検証。「滞納」は初期段階で回収を

令和７年度の不納欠損額は、現年度分と過年度分で289万８千円となった。要因を再度検証し、今後も公平性・平等性の観点と財源確保のため、引き続き回収に努力されたい。

不納欠損処理は最終手段であり、滞納発生の際は、初期の段階で早期回収に努められたい。

②新地方公会計制度（日々仕訳方式※）への知見を深めて

財務運営の向上につながるよう、制度の効果や課題を十分研究し、制度への知見を深められたい。　※現金の出入りだけでなく、複式簿記の考え方で取引を記録し、資産・負債なども把握する会計方式

③「特産品開発推進奨励補助金」の対象要件を明確に

補助対象となる事業の要件が不明瞭であり、判断にばらつきが生じ、公平性や制度の趣旨が損なわれる可能性が懸念される。

本補助金の目的に沿った適切な運用となるよう、補助対象となる要件等を改めて精査し、規程の明確化をされたい。

④「小水力発電特別会計」の管理を適切に

木片等の詰まりにより発電量が激減し、年間の売電収入が前年比約144万円の減少となった。

業務の委託契約書に「日常点検業務」の具体的な内容の記載がなく、事後の対応状況が確認できないため、契約書に日常点検業務を明確に規定されたい。

売電収入は村の貴重な財源であり、適切な施設管理が不可欠である。日々の発電量を確認し、異常が認められた際には速やかに対応されたい。

“財政指標は改善したが、引き続き健全な財政運営を”

～基金残高（積立金）が村債残高（借入金）を上回る結果に～

「村債」は令和７年度に４億6050万円を発行し、残高は27億7279万９千円。

「基金」は６億2797万３千円を取り崩したが、積立ても行い、残高は30億315万７千円となった。

実質公債費比率(※)は8.4％で、前年度より2.6ポイント改善した。令和３年度をピークに減少しているが、財政状態は依然として厳しい状況が見込まれる。18％を超えることがないよう、計画的に対応されたい。

また、その他３指標(※)についても引き続き注視し、健全な財政状態の維持を図られたい。

（※は次ページの説明を参照）

議会だより
No.283

議会に対するご意見をお聞かせください。

電　話
☎0269(82)3111
（内線170）
E-mail
gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

財政の健全性をみる「４つの指標」

地方自治体の財政破綻（はたん）を早い段階で防ぐことを目的とした「地方公共団体財政健全化法」に基づき、財政の健全性を確認するための指標です。

①～④の数値が大きいほど、財政状況は悪いとされます。

（　）内は令和７年度決算の状況です。

①実質赤字比率（生じていません）

一般会計などの基本的な会計の赤字の程度を示す指標です。

②連結実質赤字比率（生じていません）

一般会計、特別会計、公営企業会計を含めたすべての会計を合わせた場合の赤字の状況を示す指標です。

③実質公債費比率（8.4%）

村の借金の返済が、財政にどのくらい負担となっているかを示す指標です。

この比率が18%を超えると、新たな借金をするときに国や県の許可が必要になります。

④将来負担比率（生じていません）

土地開発公社や村が損失補償をしている出資法人なども含め、今後、村が負担することになる借金などが、財政規模に対してどのくらいあるかを示す指標です。

補正予算



令和８年度一般会計補正予算（第３号）１億8587万円追加（総額44億8865万円）の補正予算を賛成多数で可決しました。

主な内容を抜粋してお知らせします。　（千円以下を四捨五入）

【歳入】

総務課

- **緊急自然災害防止対策事業債　2330万円**

【歳出】

総務課

- **地域おこし協力隊募集・支援事業委託料（募集に向けたサポート）　349万円**
- **地方債の繰上償還金　1億1843万円**

産業課

- **馬曲温泉公園管理運営事業関係 委託料等（民間譲渡に伴う法律サポート等）　99万円**
- **地域農業構造転換支援事業の補助（大型農業機械の購入補助金 ２件分／県補助）　1360万円**
- **堆肥センター改修工事費の増額（受電設備の更新工事費）　2959万円**
- **排水ポンプの修繕費の増額（戸那子排水ポンプ３台のうち１号機の修繕）　130万円**

産業企画室

- **ブランド確立事業　令和の米騒動に対する業務委託料　103万円**
- **住宅等活用補助事業　新築・リフォーム補助金（対象者増に伴う）　330万円**
- **空き家対策事業　空き家活用補助金・空き家解体補助金（対象者増に伴う）　335万円**
- **移住定住促進事業　移住就業支援補助金（対象者増に伴う／県補助あり）　220万円**

承認

●一般会計補正予算（第２号）の専決処分
農作物に対する渇水対策を実施するため、50万円増額。財源は、財政調整基金からの繰入金。

例規の改正

●資金積立基金条例の一部改正
今年度から交付される宿泊税交付金に対する基金を創設し、観光等の施策に活用するために改正。

●印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
国の「印鑑登録証明事務処理要領」の一部改正に伴う改正。

●観光交流センター条例の一部改正
観光交流センターの会議室等を利用できるようにするための改正。

事件

●工事請負変更契約の締結
クロスカントリー競技場オーバーレイ工事費の変更契約。アスファルト合材等の資材価格の高騰に伴い、513万円増額。

●物品売買契約の締結
ロータリ除雪車の購入に伴う契約の締結。契約金額は6,326万円。

不認定討論

令和７年度一般会計決算に対する討論

山浦　登　議員



私は、令和７年度木島平村一般会計決算に対する不認定の討論を行う。
一般会計決算を不認定とする理由は次の３点である。

1　決算では、会計実質収支額２億1300万円（前年度１億5000万円）、経常収支比率79.8%（前年度82.4%）、実質公債費比率8.4%（前年度11.0%）と、決算状況、財政指標のいずれも良好であり、財政の効率的運用と歳出削減の努力と評価する。しかし、物価高騰に伴い、生活が厳しくなる村民の生活支援、かつてなく厳しい農業情勢下での農業、農家への支援は、国からの支援策にとどまらず、村費による積極的な支援、政策的支出が必要ではなかったかと考える。

2　特産品開発推進奨励補助は、補助対象となる要件、目的が不明瞭で補助が適切であったか疑問がある。また、スキー振興事業のリフト券購入補助は、補助要件の説明が不十分で公平公正な運用がなされなかったと思われる。補助事業を進めるには、要件、目的をしっかりと示し、適切で透明性のある公平公正な運用が必要であると考える。

3　地区づくり懇談会は、住民意見反映と協働の村づくり意識醸成との内容で開催されており、今後の課題として「若年層や子育て世代、女性の意見の吸い上げ」が上げられている。令和７年度の実績は９地区、参加人数は152人（女性20人）となっている。懇談会を開くことが、村の政策を伝えるとともに、村民意見要望を聴取し、政策に反映させる上で非常に重要な機会である。もっと村民の理解を得て、開催区を増やす取組みが、これからの村政を発展させる上で必要と考える。

◆◆◆ 賛否の分かれた議案の結果 ◆◆◆

議案	議員名								採決結果
	関 達夫	湯本 直木	湯本 行浩	山本 隆樹	山浦 登	丸山 邦久	江田 宏子	山﨑 栄喜	
令和７年度木島平村一般会計決算について	○	○	○	○	×	○	○	○	認定

■表の説明：○：賛成、×：反対（議長は議決に参加しないため、議員名から外してあります）

◆◆◆ 議員からの発議（要旨） ◆◆◆

発議第４号	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書	可　決	衆・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・国土交通大臣あてに意見書を提出。

上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書

上下水道事業は、地域の生活と産業活動を支える重要なライフラインであり、安全かつ安定的なサービス提供を将来にわたり確保していくことが求められている。

本村においても経営の効率化や経費削減に取り組んでいるが、老朽施設及び老朽管の更新並びに耐震化には多額の事業費を要し、必要な財源の確保が大きな課題となる一方で、国の補助金の配分が不十分であり、計画的な老朽化対策の推進が困難となっている。

本議会は、国会及び政府において、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要請する。

１．上下水道施設の老朽対策や耐震化に対する予算の必要額の確保
２．専門的業務を担う技術職員の確保及び技術継承と人材育成への支援
３．広域化・広域連携に向けた取組への支援の充実と補助対象の拡充

発議第５号	非核三原則の堅持を求める意見書	可　決	衆・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・防衛大臣あてに意見書を提出。

非核三原則の堅持を求める意見書

我が国は、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則を国是とし、一昨年には、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞するなど、国際平和を主導する役割を担うことが期待されている。

広島・長崎のような非人道的惨禍を繰り返さないためにも、核兵器のない世界の実現に向けた努力を放棄することなく、現実的かつ実践的な取組を粘り強く進めていくべきである。

本議会は、国会及び政府において、核兵器の廃絶を通じて、人類共通の崇高な目標である世界の恒久平和を実現するため、非核三原則を堅持するよう強く要請する。

令和８年９月定例会の審査意見

委員会に付託された議案について審査し、次の意見をまとめました。（要旨抜粋）
村の対応は、12月議会定例会の初日に報告されます。

【総務民生文教常任委員会】

意 見 **「資金積立基金条例」の一部改正について、宿泊税は早期に計画を立て、有効な活用を**

配分された宿泊税は、３年以内の活用が求められている。
早期に計画を立案し、観光施策の有効な使途を検討されたい。

【予算決算常任委員会】

◆ 令和８年度補正予算に対して

総　務　課

意 見 **「地域おこし協力隊募集・支援事業」は、他自治体での評価等を確認し、導入の際はノウハウの吸収・蓄積を**

支援事業の導入にあたっては、同様の事業を導入している他の自治体における成果や効果、導入後の評価等を事前に確認し、必要性や有効性を十分検討されたい。

また、地域おこし協力隊制度の趣旨や導入の目的等に鑑み、具体的な成果につながるよう取り組むとともに、本事業を通じて得られる募集等のノウハウをしっかりと吸収・蓄積し、今後の他の協力隊募集にも活かされるよう取り組まれたい。

産　業　課

意 見 **「堆肥センター」は、スケジュールの前倒し等、経費の効果的な執行を**

今回の補正予算で堆肥センターの「キュービクル工事」の予算が計上されたが、長寿命化が目的の本工事において、事前の確認不足により、今後も設計段階で想定されていなかった追加工事が見込まれる。

現施設の状況からすると、今後７年間の維持管理費の増高が懸念される。次期施設のあり方、スケジュールの前倒し等、経費の効果的な執行を検討されたい。



堆肥センターの
長寿命化工事の現場確認

◆ 令和７年度決算に対して

民　生　課

意 見 **「高齢者対策」では、身寄りのない高齢者への支援体制の研究・検討を**

今後、身寄りのない高齢者の増加が見込まれる中、入院や施設入所、死後の手続き等の対応について、行政の負担が増加することも想定される。

このような課題に対し、対象となる方に寄り添い、必要な支援につなげられる体制の整備に向け、関係団体と連携し、具体的な支援のあり方について研究・検討を進められたい。

◆ 全体を通じ、課題に向き合う姿勢として

意 見 **先送りすることなく、積極的に研究・検討を**

各事業における課題を的確に認識することは重要である。

「事務事業評価」や「主要施策の報告書」等に示されている各課題について、その解消に向けた取組みを先送りにすることなく、積極的に研究・検討を進め、具体的な取組みにつなげられたい。

６月定例会以降の議会活動

議会では、定例会以外に、研修や村議会独自の議会活動などを行っています。

北信建設事務所との懇談会（６月23日）

北信建設事務所と議会との懇談会を開催しました。懇談会に先立ち、現在工事が進められている上千石上部の砂防ダムを視察し、全長200m、高さ13mの巨大な工事の概要の説明を受けました。視察後の懇談会では、現在進められている北信建設事務所管内の村内工事の進捗状況と今後の計画について、それぞれの担当者から説明を受け、県道改良や維持補修の意見・要望等、意見交換をしました。



役場で行われた懇談会



砂防ダム（上千石）視察



土砂災害を防ぐ砂防ダムのえん堤

北信地域議会議員研修会（８月３日）

野沢温泉村のスパリーナ国際会議場で開催された研修会では、内閣官房デジタル行財政改革会議事務局の地方創生支援官（野沢温泉村担当）である吉田宏平氏による「人口減少と地方創生」と題しての講演がありました。支援官の具体的な業務は、自治体の課題に国の職員が入り、整理から実行支援まで一緒に進める仕事で、野沢温泉村では、地域の課題に合わせてデジタル運用にむけ支援官が伴走に努めています。

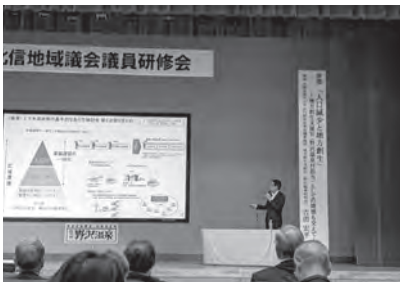
講演は、人口減少や人手不足が進む地域を、デジタル社会形成で地域活性化に取り組む内容でした。

デジタル改革は、地方創生を進める道具です。

行政手続のオンライン化や地域サービスの連携が進むと、住民は窓口へ行く負担が減り、自治体側は限られた職員数でもサービスを維持しやすくなります。

また、観光、農業、防災、交通などでデータ活用が進むと、地域の課題に合った施策を進めることができます。

一方で、導入後に運用できる人材不足は課題です。デジタル基盤だけでなく、人材育成や地域に合った設計がないと効果が出にくいことも示されています。



北信地域議会議員研修の様子

このほか、新たに御殿団地（中村）に建設された賃貸集合住宅の内覧（７月２日）、長野県町村議会議長会議員研修（７月13日 松本市において）を受講しました。

堆肥センター検討委員会

堆肥センター検討委員会が９月18日に開催されました。環境保全型農業を進め、有機の里の農産物を村の柱としていくため、施設の老朽化及び農業を取り巻く環境の変化を踏まえ、将来にわたり持続可能な処理体制と施設のあり方を検討します。施設の存廃を議論するのではなく、将来にわたって維持すべき機能として整理したうえで、施設を効果的かつ持続的に確保し、村農業の基幹施設にしていくことを検討します。菌茸農家、畜産農家、担い手農業者、農業委員、議員（２名）など、村から委嘱された18名で委員は構成されています。来春まで４回ほどの会合を開催し、本来の堆肥センターの機能を生かした持続可能な村の農業の今後を模索することを目的としています。

議会全員協議会

【村からの提出案件】

7月2日

●**報告事項**

- 馬曲温泉公募型プロポーザルの応募状況について

8月20日

●**協議事項**

- 物品売買契約の締結に関する議案の説明
  ・ロータリー除雪車の購入
- 工事請負契約の変更に関する議案の説明
  ・クロスカントリー競技場オーバーレイ工事

●**報告事項**

- 令和７年度事務事業評価の説明

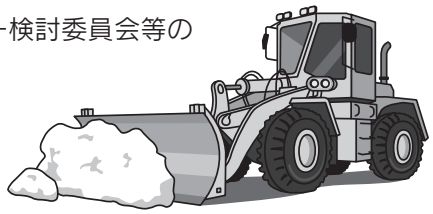
●**その他**

- 堆肥センター検討委員会の設置について

8月27日

●**協議事項**

- 堆肥センター検討委員会等の詳細説明



【議員間での協議事項】

7月2日

●**協議事項**

- 特別豪雪地帯指定市町村協議会への要望事項の検討

●**報告事項**

- 北信州農村女性のつどいについて

7月13日

●**協議事項**

- 議会議員特別セミナー受講者　研修報告

7月31日

●**協議事項**

- 公的団体の経営状況の報告と質疑
  （観光振興局・農業振興公社・社会福祉協議会）

8月20日

●**協議事項**

- ９月定例会　議員発議の検討

8月27日

●協議事項

- 堆肥センター検討委員会開催に伴う委員の選出について
- 議会改革検討委員会　今後の取組み（案）について

各議員の一般質問の項目

９月２・３日に７人が一般質問を行いました。質問・答弁の要旨は来月（11月号）の議会だよりに掲載します。

第１日目（９月２日）

１　山浦　登

①令和７年度一般会計決算について
②地区づくり懇談会について
③治山治水対策とその備えについて
④農業支援について
⑤予備自衛官等兼業特例法について

２　江田 宏子

①「小･中学校のあり方」の今後の見通しについて
②農産物のブランド化について
③外郭団体の「持続可能なあり方」について

３　山本 隆樹

①池の平の蓄電所について
②「空き家対策」の現状は

４　湯本 直木

①令和８年度６月議会での諸般の報告について
②人工芝化された屋内運動場について
③上下水道の管理の実状と今後の整備計画について
④保育園、小中学校の教職員のハラスメント対応について

第２日目（９月３日）

１　関　達夫

①人口は減っても住みやすさを増やす
②村税等の未納金対策について
③米どころ木島平をもっと主張しよう
④次期村長選について

２　丸山 邦久

①木島平村農業振興公社の令和７年度決算報告と経営改善について
②木島平村の自主財源と産業振興の必要性について

３　山﨑 栄喜

①職員の採用等について
②一般質問の答弁と先送りになった事項のその後について



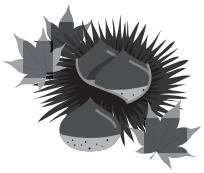
次回定例会の開催予定

12月議会定例会　※現時点での予定です。

開　会　日　12月 4日（金）
一般質問①　12月 9日（水）
一般質問②　12月10日（木）
閉　会　日　12月16日（水）

請願・陳情の受付締切日

11月17日（火）午後５時
議会事務局へ直接お持ちいただき、事務局員に説明をお願いします。



定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。
次の場所・方法で閲覧できます。
・役場２階の議会事務局での閲覧（平日午前８：30～午後5：15）
・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村 で検索して、次のように進んでください。
公式ウェブサイト（トップページ下段）の 木島平村議会 → 会議録
※９月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



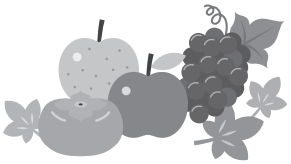
議会を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
傍聴席は、役場２階　議場後方が入口です。
また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。
開会日と閉会日の再放送は、当日の午後10時からです。一般質問の再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



議会だより編集委員

委員長	江田　宏子
副委員長	山本　隆樹
委　員	山浦　　登
	関　　達夫
	湯本　直木
	湯本　行浩



ちょっといっぷく

議員のひとりごと

私には、孫が十人いる。この孫たちは、これからどんな人生を歩んでいくのか。

私が子育てをしていた四十年前、日本は世界一豊かな国と言われていた。東京の物価は、世界一高かった。

海外旅行をすれば、日本の経済力の強さの恩恵を受けることが出来た。海外の物価が安かったのである。一流ブランドの商品が国内より相当安く買えた。

現在、インバウンドと言われる外国人が、日本の物価は安いと言う。逆転されてしまっている。

目の前に経済大国とは呼べなくなった日本の姿がある。日本人の服装でさえ、華やかさがなくなり地味になった。

栄枯盛衰は世の常だが、もう一度豊かな日本、豊かな木島平村になってほしい。そこに孫たちの姿があってほしいと願ってやまない。

丸山 邦久